

## 春日市指定管理者導入施設の業務実績評価【対象年度:令和4年度】

### 1 基本情報

施設名	春日市ふれあい文化センター
指定管理者	トールツリーグループ
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31まで(5年間)
担当所管	文化スポーツ課文化担当

### 2 施設情報(休館など)

【防災設備及びエレベーター更新工事に伴う貸館中止】 ・新館:9月1日～30日
---

### 3 利用者数

指定期間	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目				
年 度	令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度比	
利用者数	合計	164,078人							
施設内訳	新館	81,041人							
	旧館	83,037人							

### 4 履行確認項目への評価

分類	履行確認項目	評価の視点	確認内容	評価	特記事項
施設維持管理	清掃	適正に実施されているか	令和4年度施設維持管理業務実施状況	○	
	設備保守点検	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不具合の対応は適切か	・令和4年度施設維持管理業務実施状況 ・令和4年度施設維持管理業務実施一覧	○	・約30項目ある施設維持管理業務を定期的実施し、市が指定する点検回数を満たしている。特に、舞台機構保守点検(スプリングホール)は、指定回数以上の点検により、安全に安心して施設管理に努めた。
	警備	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか	令和4年度施設維持管理業務実施状況	○	
	小規模修繕	・適正に実施されているか ・不具合の対応は適切か	・令和4年度小規模修繕実績 ・改修及び修繕実績報告書	○	・緊急性や優先度を見極め、計画的な修繕を行っている。 △保守点検結果や設備の不具合状況を十分に把握していない場面が見られた。
運営業務	運営状況	・公共性、公平性を確保しているか ・事業計画どおり実施しているか	・事業計画書 ・令和4年度指定事業実施報告書 ・令和4年度指定事業(必須型事業(1)ふれあい文化センター)実施報告書 ・令和4年度ふれあい文化センター通年講座月別受講者数・回数 ・令和4年度自主事業事業実施報告	◎	・必須型事業の一つであるふれあい文化サークルでは、市の指定する回数(80講座(2,400コマ)以上)を大きく上回る回数を行い。市民に対し多彩なジャンルの生涯学習の場を提供した。 ・必須型事業の一つである弥生の里音楽祭にて計7つの事業を実施。その中には市制50周年を記念した企画もあり、講師が市民とともに50曲を作曲した。 ・振興事業を4本、普及・育成型事業を10本、鑑賞型を8本開催し、いずれも市が定める基準以上の事業展開を行った。
	サービス水準の維持	・サービスの水準を維持する努力はなされているか ・課題解決の努力をしているか	令和4年度研修・訓練等実施報告書 令和4年度ふれあい文化センターサービス向上委員会議事録	◎	・サービス向上委員会を開催し、施設に携わる職員が職種を越えて意見交換を行い、サービス水準においての意識向上を図っている。 ・Facebook、Instagram、LINE、Twitter、Youtube等のSNSを通して、積極的な情報発信の継続に努めている。 ・利用者の意見で要望が多い施設設備、備品改善等への対応のため、今期指定管理更新時に提案された、市指定の修繕費とは別枠の「利用促進改善費」により、新館正面出入口ビーの照明をLED化し、劣化した待合用ソファの更新を行った。
	利用状況の把握	適切な施設の利用状況か	・令和4年度諸室稼働率実績 ・令和4年度利用者実績	○	年間を通し、新型コロナウイルスに配慮した貸館業務を行い、昨年度よりも施設の稼働率が向上している。
状経況理	収支決算状況	・適正に執行されているか ・管理コストが上昇していないか	・令和4年度収支報告書 ・指定事業・自主事業収支内訳	○	

#### 4 履行確認項目への評価

分類	履行確認項目	評価の視点	確認内容	評価	特記事項
運営体制	人員の適正な管理	・人員の適正な配置がされているか ・継続的なレベルの維持に努めているか	・人員の配置変更届 ・月別勤務実績(月次報告)	○	
	利用者の苦情・要望等の対応体制	苦情等への対応は適切か	令和4年度利用者対応報告書 令和4年度ふれあい文化センターご利用者様意見交換会議事録	○	ご利用者様意見交換会を開催し、施設に対する利用者の生の声を聞き、改善を図った。
	危機管理体制の確保	事故・災害発生時の対応はできているか	・春日市ふれあい文化センター緊急連絡体制表 ・防災訓練の実施(年2回) ・防災・危機管理マニュアル	○	
	関係機関・地域との連携体制	連携を図るための組織・体制を整えているか	・事業報告書 ・定期的な情報交換等の開催実績	○	・図書館指定管理者とは、施設の管理に関することだけでなく、事業でも連携した(図書館のバックヤードツアー) ・春日まちづくり支援センター・ぶどうの庭との連携により、以下の事業を実施した。 ①ぶどうの庭からの講師の招聘 ②ぶどうの庭へのアウトリーチ事業 ③ぶどうの庭でのチケット販売(プレイガイド)
その他	行政と連携した対応	行政の提案・要望に応じた施設の管理運営ができているか	・事業報告書 ・月例会議	○	・期日前投票所のふれあいプラザへの設置や、工事による臨時休館に対し、事前に関係所管と連携を図り、利用者の混乱を招くことなく対応した。

#### 5 加点項目への評価

評価内容	特記事項
新型コロナウイルス感染防止対策に関する対応	・年間を通し、新型コロナウイルス感染対策に対応した貸館業務を行った。コロナ感染拡大の影響による施設キャンセルの無料化や区分間の消毒作業の徹底等、利用者が安心して施設を利用できる体制を整えていた。 ・主催事業においても、検温及び消毒の徹底やホール座席を1席ずつ空ける等して、新型コロナウイルス感染対策を行った。
幅広い世代に応じた文化芸術イベントの開催	・市制50周年にふさわしく、著名な文化人・アーティストを多数招聘し、良質で多様な文化事業を市民に提供することができた。 ・「0才からのコンサート」や「ドゲンジャーズショー」等、子育て世代に好評な事業を実施した。特に後者は「ヒーローショー」というこれまでに実施していなかったジャンルの事業であり、施設の新しい魅力向上につながった。

#### 6 総合評価

評価	コメント
A 優れている。	・平成30年から4年に渡る指定管理期間を経て、指定期間2期目(令和4～8年度)を迎えた。前期に引き続き、利用者の意見や要望に対し真摯に向き合う姿勢や、地域や関係団体との連携を密にし、本市の文化芸術の発展の下支えとなっている点は、高く評価できる。 ・文化事業においても、ピアノリレーマラソンやシネマ事業等の開館当初から親しまれている事業を行う一方、著名な文化人・アーティストを多数招聘し、市制50周年を盛り上げた。 ・図書館、文化協会、ぶどうの庭など、関係団体等と連携した企画が多数見受けられる。